

## 協働事業提案調整記録

事業名	6 . 生ゴミ分別回収事業 ( 2 回目 )
日 時	7 月 9 日 ( 金 ) 9 時 ~ 1 0 時 1 0 分
場 所	市役所会議室棟 2 0 2 会議室
参加者 ( 敬称略 )	【提 案 者】松井 【担当委員】池本、小林 【参加課】 環境総務課 ( 北島 ) 市民活動課 ( 井東、鈴木、小山 )
主な内容	<p><u>再検討した具体的な計画について説明 ( 提案者 )</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統計資料をみると事業用の方が多いが、今回は一般家庭から出る生ごみについて検討した。( 詳細は別紙のとおり )</li> <li>・対象 1 0 0 0 世帯で 5 0 ケ所に収集用ポリタンクを設置し、週 3 回収集</li> <li>・あくまで自然に堆肥化させるため最低 1 0 0 0 m<sup>2</sup>程度の土地が必要。</li> <li>・自分の役目は、問題点の解消発酵用タンクに入れた生ごみが堆肥化するまでの管理などを考えている。</li> </ul> <p><u>提案者</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分別することは確かに面倒だが、メリットもたくさんあるのでぜひ取り組むべき。</li> <li>・分別を徹底させるために将来は有料化が基本。</li> <li>・本来は市がやるべき事を、今回協働事業で提案している。あとは市のやる気の問題。</li> <li>・市民が提案して行政施策として進めるのも協働事業ではないかと考えている。</li> </ul> <p><u>担当委員</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからは市民がより主体的に参加できる行政が必要であり、そのための手段の一つがこの協働事業である。</li> <li>・理念的に大きなものなので難しい面があるだろう。出来た堆肥の利用方法も検討しなくてはならない。</li> <li>・まず地元自治会に働きかけ協力してもらってはどうか。( 資源分別により還元されている費用を活用 )</li> <li>・もっと仲間を集め市民運動的な広がりを作ることが必要だと思う。</li> </ul> <p><u>環境総務課</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今のところは、現在の分別収集を徹底していく考え。実際ごみの量も減ってきている。</li> <li>・生ごみだけでなく全体のごみ処理計画の中で総合的に判断した結果、現在のところ生ごみは焼却処理している。</li> </ul> <p><u>市民活動課</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉関係の事業と違い、環境については政策提言的などころがあり協働事業として検討するのは難しい面がある。</li> <li>・ただ、市民と行政の話し合いの場を作ること目的のひとつ。そういった面も含めて今回の協働事業のプロセスを理解してほしい。</li> </ul>
確認事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 公開検討会 ( 7 月 1 8 日 ) 前に、再度調整会議は行わない。</li> <li>* 提案者は今回提出された計画書で公開検討会に臨み、提案の想いを説明する。</li> </ul>